

会報 SHINSHIYOU 神私幼

平成26年6月1日

第188号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人：会長 小澤 俊通
 編集人：神私幼総務部(広報室)
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
 TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



4 April

- 2(水) 第1回正副会長部室次長会
- 4(木) 第1回協会会長
第1回運営委員会
- 11(金) 第1回広報委員会
- 16(水) 第2回協会会長
第1回振興部会
- 22(火) 第1回経営管理部会
神奈川県通園バス津波対策研究会
- 25(金) 第1回研修事業部・研究部 部会
- 28(月) 第1回子ども子育て新制度対策研究委員会
- 30(水) 関東地区会・神奈川地区会 団体長会・監査会・理事会

5 May

- 7(水) 監事監査
第1回総務部会
- 8(木) 全日私幼連 理事会
- 12(月) 第2回正副会長部室次長会
第2回運営委員会
第1回理事会
- 14(水) 新規採用教員研修会
- 15(木) 第1回統合保育基礎講座
- 19(月) 第2回研修事業部・研究部 部会
- 20(火) 第2回経営管理部会
幼稚園プール安全管理検討会
- 21(水) 第2回広報委員会
全日私幼連 総会
- 26(月) 第3回正副会長会
平成26年度通常総会
- 27(火) 第2回子ども子育て新制度対策研究委員会
- 28(水) オープン講座(鎌倉)
オープン講座(小田原)
- 29(木) 102条園プロジェクト委員会

6 June

- 4(水) 新規採用教員研修会
- 5(木) 第2回統合保育基礎講座
- 6(金) 神奈川県子ども・子育て会議
- 9(月) 第3回研修事業部・研究部 部会
- 11(水) 第4回正副会長会
第3回運営委員会
- 17(火) 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会
委員総会
- 18(水) 新規採用教員研修会
- 24(火) 第3回経営管理部
- 25(水) オープン講座(藤沢)

7 July

- 1(火) オープン講座(相模原)
- 2(水) 第3回広報委員会
- 5(土) 就職相談会
- 9(水) 第4回研修事業部・研究部 部会
- 11(金) 第5回正副会長会
第4回運営委員会
園長等運営管理協議会
- 24・25(木・金) 幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会
- 30(水) 中堅教諭研修会(横浜美術館)

平成26年度事業予定表

黒字→県連合会行事

赤字→全日私幼連

緑字→県等行事

(予定表は5月22日現在確定のものを掲載)

8 August

- 4・5(月・火) 免許状更新講習必修領域
新規採用教員研修会
10年経験者研修会
- 18・19(月・火) 第29回関東地区教員研修栃木大会
- 22・23(金・土) 幼児教育実践学会
- 27(水) 第4回広報委員会
- 28(木) 幼稚園教育課程研修講座

9 September

- 3(水) 全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会
オープン講座(相和)
- 8(月) 第6回正副会長会
第5回運営委員会
- 12(金) 第5回研修事業部・研究部 部会
- 16(火) 父母連常任委員会
- 18(木) 第4回経営管理部会

10 October

- 1(水) 第5回広報委員会
- 7(火) 第7回正副会長会
第6回運営委員会
- 9(木) 第6回研修事業部・研究部 部会
- 14(火) 第5回経営管理部会
- 15(水) 新規採用教員研修会
オープン講座(川崎)

- 20・21(月・火) 全国設置者・園長研修会(香川)
- 30(木) 第3回統合保育基礎講座
- 31(金) 幼・保合同研修講座
未定 父母連常任委員会

11 November

- 5(水) 第7回研修事業部・研究部 部会
- 6・7(木・金) 関東地区代表者協議会(新潟)
- 11(火) 第8回正副会長会
第7回運営委員会
- 13(木) 第4回統合保育基礎講座
- 18(火) 父母連研修大会(パシフィコ横浜)
- 19(水) 第6回広報委員会
湘南地区教育研修大会
- 28(金) 幼・保・小連携研修講座

12 December

- 2(火) 父母連常任委員会
- 4(木) 第6回経営管理部会
- 8(月) 第9回正副会長会
第8回運営委員会
- 9(火) 第8回研修事業部・研究部 部会
- 8・9(月・火) 教育課程中央協議会

1 January

- 8(木) 第7回広報委員会
- 14(水) 第9回研修事業部・研究部 部会
- 19(月) 第10回正副会長会
第9回運営委員会
- 21(水) 公・私立幼稚園合同研修講座
川崎地区教育研修大会
- 21・22(水・木) 公開保育コーディネーター養成講座
- 24(土) 横浜地区教育研修大会
- 28(水) 県央地区教育研修大会
- 31(土) 教育経営研修会

2 February

- 12(木) 第7回経営管理部会
- 13(金) 第11回正副会長会
第10回運営委員会
- 17(火) 父母連常任委員会
- 18(火) 第8回広報委員会
- 19(木) 第10回研修事業部・研究部 部会

3 March

- 5(木) 第11回研修事業部・研究部 部会
- 12(木) 第12回正副会長会
第11回運営委員会
第2回理事会

2・3

会長挨拶 会長就任にあたり

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤俊通

県民局次世代育成部長のご挨拶

次世代育成部長 石川信之

4・5

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

平成26・27年度 役員名簿

平成26年度 各協会長及び協会データ

6・7

事業部長・室長のことは本年度の活動方針

8・9

研修事業部・研究部報告

平成26年度 研修事業部・研究部活動

10・11

研修事業部・研究部名簿

退職役員の紹介

子ども・子育て新制度対策研究委員会より

新制度最終コーナーへ 委員長 山口繁美

教育相談室から 相談員 鈴木敦子

通学・通園バス等

津波対策ガイドライン 副会長 鈴木伸司

12

Pride of KANAGAWA／研修会報告／

広報室員名簿／県連事務局の紹介

会長挨拶

会長就任にあたり

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

会長 小澤 俊 通



はじめに

この度、加盟園各位のご推挙を頂き会長に就任することとなりました。昨年度県連は六十五周年を迎え、盛大に全県大会を開催致しました。私がこの世に生を受ける前から、県連は発足し歴史を刻んできました。会長という大役に身が引き締まる思いですが、歴史と伝統ある県連を少しでも前に進めることが出来ればと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

渡邊前会長を称えたい

渡邊眞一前会長には、四期八年に亘り県連を導いて下さいました。渡邊先生は県連に始めて四〇年になると申されていました。県内各地区の先生方とも知り合いが多く、全国にもその名は轟いておられます。県連組織の隅々を熟知され、その指導力をいかに発揮されました。特に会長在任中の八年間の業績はまさに特筆すべきものと存じます。県連六〇周年の記念大会では、パシフィコ横浜大ホールに約五〇〇〇名の教職員が

参加され、まさに「県連は一つ」を実感させて頂きました。渡辺貞夫さんと一〇〇名を越える先生方の合奏と合唱は圧巻でした。

更に「ようちえん会館」の取得は大事業であつたと存じます。先人の積み立てを生かし、移転を繰り返していた事務局を固定することに留まらず、会議や研修を自前の会館で行うことが出来るようになりました。財政的にも、県連運営に大きく寄与しています。

その他、公益法人への移行や関東地区代表者協議会の開催、昨年の全県大会と次々と事業を遂行されました。この功績は必ずや後世の大きな評価を得るものと信じております。本当にお疲れ様でした。

県連の目指すもの

ご存知の通り、県連は五地区十二協会から組織されています。県内私立幼稚園の九割が加入し、公益法人格もある県内唯一の私立幼稚園の責任団体です。その役割は重要であり、私幼の存亡にも関わることになるかもしれません。広く県民の理解を得ながら、如何に幼稚園教育が

大切かを訴え続け、各加盟園の存続と利益を求めていきたいと考えております。

私立幼稚園を認可し監督する県庁の担当部署とは、緊密に連携していく必要があります。協力関係を維持しつつ、助成の拡充など訴えるべきはしっかりと訴えていきたいと存じます。更に新制度施行を間近にして、市町村との関わりが増大していきます。十二協会が窓口となり折衝することになりますが、各市町村の情報と共有することが必要です。個々の私立幼稚園が抱えている問題や課題を把握し、その問題解決に向けた道筋など示すことが出来れば、存在感ある県連になることでしょう。

新制度への対応

平成二十七年年度には、「子ども・子育て三法」に基づく「子育て支援新制度」が施行されます。今年度の重点施策の一番目に記載した通り、この制度への対応が喫緊の課題です。県連としては、昨年度に続き「子ども・子育て新制度対策研究委員会」を設置し、この問題に英知を集結してまいります。委員会が中心となり、この制度に関する情報を収集し、広く加盟園に対して周知する機会を確保したいと存じます。加盟園が新制度に対して、どのような経営判断が出来るか、最新情報や判断材料を速やかに提供するよう努めたいと存じます。

この制度への疑問や問題点はまだまだ多くありますが、制度を改善していくに

じます。加盟園の皆様の積極的な参加や参画を心からお願ひ申し上げます。

ご支援ご協力を

私は県連にお世話になり五期一〇年となりました。厚木協会の協会長を三期六年務め、県連副会長を三期連続務めたものの、まだまだ知識も指導力も至らぬところばかりです。しかしながら、与えられた役割を「天命」と受け止め、自分なりに努めてまいりたいと存じます。

地区を代表する五名の副会長は頼もしい存在ですし、それぞれの部長・室長・

は、子ども・子育て新制度対策研究委員会を組織し、学習会や勉強会を開催するなど、精力的に取り組んでいただいていると伺っております。

県におきましては、新制度施行に先立ち、幼稚園関係者の皆様が今後に向けて方向性等を検討される際のご参考となるよう、制度概要の説明会を県内各地域で実施し、分かりやすい説明に努めてきたところです。今後も市町村と共に速やかな情報提供に努めてまいります。

また、就学前児童の教育を担う私学振興課と保育を担う次世代育成課とを所管する次世代育成部として、一体的かつ効果的な施策展開を図り、子育て家庭への切れ目のない支援を充実させてまいりたいと考えております。

こうしたことから、県といたしまして

は法律改正も視野にいれなければなりません。そのためには全日私幼連への働きかけが必要です。皆様の声を全日私幼連に届け、私立幼稚園の存続に寄与するべく努力してまいります。

連携を深めたい

公益社団法人としての政治活動には制約があります。その意味では「教育振興連盟」は力強い存在です。私幼の願いを実現するには、政治の後押しが必要です。振興連盟は設置者個人が加入する組織ですが、是非とも一人でも多くご加入頂き、県連と有機的に連携してまいりたいと存じます。さらに県内の各私学団体とも私学助成の拡充で協力してまいりたいと存じます。また退職基金財団は教職員の福利厚生が必要です。予算要望などは常に協力し、共に活動してまいりたいと存じます。

全日私幼連及び幼児教育研究機構、関東地区会には役員を派遣し、強く太いパイプを維持し、様々な振興活動・研究活動に参画してまいります。

加盟園をサポートします

県連の事業の中には加盟園をサポートできる事業があります。一つは「教育相談事業」です。相談員の鈴木敦子先生（臨床発達心理士）には様々な相談に応じて頂いております。保護者は勿論、先生方からのご相談にも対応して頂きますので、是非ご活用頂くようお願い致します。

次長も適材適所をお願い出来たと考えています。協会から推薦された四十五名の運営委員に加え、私から三名の運営委員を指名させて頂きました。永保顧問や渡邊前会長、さらには押本・豊田両監事にもアドバイスを頂きながら、県連という大きな船を舵取りし、出航させて頂きま

す。加盟園各位におかれましては、厳しくも温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶と致します。

は、幼児教育の一層の推進のため、平成二十六年年度予算では、厳しい財政状況の中、私立幼稚園への経常費補助に加え、預かり保育や地域開放及び特別支援教育への補助の充実を図ってまいりました。今後も、次代を担う子どもたちを、この神奈川県で健やかに育むことができるよう、幼児教育の一層の振興に努めるとともに、引き続き子ども・子育て支援新制度への的確な対応など、次代を見据えた施策展開に努めてまいる所存でございます。

私立幼稚園連合会の皆様におかれましては、神奈川県の子どもの未来に向けて、一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

さらに「法律相談事業」として、県連は顧問弁護士をお願いしております。新進気鋭の西村将樹弁護士は幼稚園の現場をよく理解しておられ、的確なアドバイスを頂けると思います。幼稚園を取り巻く様々なトラブルに素早く対処するには、法律的なアドバイスは重要です。危機管理の観点からも、万一来備えることは大切だと思います。いざというときは是非ご相談頂きたいと思ひます。

各部事業の充実を

県連には五部二室の組織があります。

県民局次世代育成部長のご挨拶

次世代育成部長 石川 信之



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会の皆様におかれましては、日ごろから本県の幼稚園教育の振興と発展にご尽力

いただき、深く感謝申し上げます。また、幼児教育に関する様々な研修・研究活動に日々取り組み、研鑽を積まれておられることに改めて敬意を表します。

本年四月に県民局次世代育成部長に就任し、私学行政に携わることとなりました。私立幼稚園をはじめとした私学の振興、次代を担う子どもたちが健やかに育つ社会の実現に向け、皆様方のお力にな

れるよう微力ながら努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、子ども・子育て支援新制度が平成二十七年四月から施行予定となっております。就学前児童の教育・保育に関して、戦後初めてとも言える大幅な制度変更であり、子育て家庭はもとより、幼稚園関係者の皆様方への影響も大きなものとなるうかと拝察いたします。

このような大きな制度の転換期を迎え、私立幼稚園連合会の皆様におかれまして

小田原私立幼稚園協会

協会長 平松 章子

①〒250-0011
小田原市栄町4-6-5 (新玉幼稚園)
(事務局) 〒250-0877
小田原市上新田130 (鴨宮幼稚園)
②0465-22-4060 (事務局)0465-47-4251
③0465-22-7067 (事務局)0465-47-4252
④11園
⑤(学校法人) 9園
(個人) 2園
⑥1, 265名

①所在地(事務局所在地)

②電話番号

③FAX 番号

④加盟園数

⑤設置区分

⑥園児数

相和私立幼稚園協会

協会長 山本 安雄

http://www.souwa.gr.jp/

①〒252-0024
座間市入谷1-3116 (鈴鹿幼稚園)
(事務局) 〒243-0424
海老名市社家1133-1 (海老名みなみ幼稚園)
②046-251-6200 (事務局)046-232-8922
③046-251-6690 (事務局)046-232-8938
④27園
⑤(学校法人)24園
(個人) 3園
⑥5, 372名

特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会

協会長 青木 敏雄

http://www.fujisawa-syk.com/

①〒251-0024
藤沢市鵠沼橋1丁目1番14号 第一興産12号館4階
②0466-54-0711
③0466-54-0710
④30園
⑤(学校法人)23園
(宗教法人) 4園
(個人) 3園
⑥5, 989名

鎌倉私立幼稚園協会

協会長 興 俊道

http://www.kidslink.jp/cgi-bin/lib/index_x.cgi?efldr=kamakura&page=9&sub=0

①〒247-0062
鎌倉市山ノ内483 (北鎌倉幼稚園)
②0467-22-3575
③0467-22-3606
④22園
⑤(学校法人) 18園
(宗教法人) 4園
⑥3, 080名

公益社団法人横浜市幼稚園協会

協会長 木元 茂

http://www2.kids-yokohama.or.jp/~kidsyoko/

①〒221-0055
横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス509アネックス5F
②045-534-8708
③045-453-1120
④255園
⑤(学校法人)212園
(宗教法人) 25園
(個人) 18園
⑥集計中

一般社団法人相模原市幼稚園協会

協会長 岩本 勉

http://www.soshiyo.net/

①〒252-0236
相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館3F
②042-751-3606
③042-751-3706
④37園
⑤(学校法人)33園
(宗教法人) 1園
(個人) 3園
⑥8, 157名

逗葉私立幼稚園協会

協会長 石渡 淑恵

①〒249-0006
逗子市逗子6-8-47 (聖マリア幼稚園)
(事務局) 〒249-0006
逗子市逗子3-1-17 (逗子幼稚園)
②046-871-6337 (事務局)046-871-2792
③046-871-6337 (事務局)046-872-3400
④ 6園
⑤(学校法人) 6園
⑥728名

茅ヶ崎市私立幼稚園協会

協会長 坂部 春美

①〒253-0012
茅ヶ崎市小和田2-12-57 (茅ヶ崎松若幼稚園)
(事務局) 〒253-0065 茅ヶ崎市松尾6-11 (茅ヶ崎浜見平幼稚園)
②0467-52-3355 (事務局)0467-82-8518
③0467-54-7707 (事務局)0467-82-8568
④16園
⑤(学校法人)13園
(宗教法人) 1園
(個人) 2園
⑥3, 341名

公益社団法人川崎市幼稚園協会

協会長 伊藤 夏夫

http://youchien.org/

①〒211-0063
川崎市中原区小杉町3-2-1
ダイアパレス武蔵小杉311号
②044-711-8383
③044-733-5000
④83園
⑤(学校法人)70園
(宗教法人) 8園
(個人) 5園
⑥21, 712名

厚木地区私立幼稚園協会

協会長 和田 貴樹

http://www.kidslink.jp/cgi-bin/lib/index_x.cgi?efldr=atsugi-shiyo&page=2&sub=0

①〒243-0032
厚木市恩名3-11-55 (光ヶ丘幼稚園)
(事務局) 〒243-0003
厚木市寿町2-6-19 (ちぐさ幼稚園)
②046-222-2561 (事務局)046-221-0730
③046-224-3001 (事務局)046-205-0031
④20園
⑤(学校法人)19園
(個人) 1園
⑥3, 021名

湘央地区私立幼稚園協会

協会長 大澤 一之

①〒254-0812
平塚市松風町5-27 (松風幼稚園)
(事務局) 〒254-0077
平塚市東中原2-23-3 (東中原幼稚園)
②0463-22-0558 (事務局)0463-33-4849
③0463-22-1668 (事務局)0463-33-4895
④41園
⑤(学校法人)36園
(宗教法人) 2園
(個人) 3園
⑥6, 713名

横須賀市私立幼稚園協会

協会長 竹折 輝隆

http://www.kidslink.jp/yokoshiyou/

①〒238-0034
横須賀市金谷1-5-8 (横須賀若葉幼稚園)
(事務局) 〒237-0067 横須賀市鷹取町1-1-2 (追浜幼稚園)
②046-852-0779 (事務局)046-865-2008
③046-852-0792 (事務局)046-865-2008
④30園
⑤(学校法人)24園
(宗教法人) 6園
⑥4, 873名

平成26年度
各協会長及び
協会データ

安西 透
総務部担当

鈴木 伸司
振興部担当

副会長

興 俊道
経営管理部担当

武藤 保之
研修事業部担当

山本 安雄
研究部担当

小澤 俊通
会長

新年度を迎え、県連合会の役員が改選されました。

氏名太字は協会長

役 職 名	氏 名	園 名	役 職 名	氏 名	園 名		
顧問	遠 藤 匡 弘	伸びる会	振 興 部	青 木 敏 雄 (理事長・園長)	青木		
顧問	永 保 固 紀 (理事長・園長)	田名	振 興 部	坂 部 春 美 (園 長)	茅ヶ崎松若		
運 営 員	会 長	小 澤 俊 通 (理事長・園長)	厚木田園	振 興 部	平 松 章 子 (園 長)	新玉	
	副 理 長	振 興 部	鈴 木 伸 司 (理事長・園長)	みゆき	振 興 部	岩 本 勉 (理事長・園長)	南大野
		総 務 部	安 西 透 (園 長)	平和	振 興 部	石 渡 淑 恵 (園 長)	聖マリア
		研 究 部	山 本 安 雄 (理事長・園長)	鈴鹿	振 興 部	和 田 貴 樹 (理事長・園長)	光ヶ丘
		研究事業部	武 藤 保 之 (園 長)	友愛	総 務 部	森 田 裕 明 (理事長・園長)	早苗
		経営管理部	興 俊 道 (主 事)	北鎌倉	振 興 部	田野岡 由紀子 (園 長)	山王台
	振 興 部	木 元 茂 (園 長)	幸ヶ谷	研 修 事 業 部	江 津 秀 子 (園 長)	八幡橋	
	振 興 部	渡 邊 眞 一 (理事長・園長)	初音丘	研 究 部	鬼 頭 久美子 (園 長)	プリンス	
	財 務 室 長	渡 井 和 佳 (代表役員・園長)	マヤ	経 営 管 理 部	岡 崎 賢 司 (理事長・園長)	みたけ台	
	研 修 事 業 部	山 崎 和 子 (園 長)	鶴見大短期大学附属三松	研 究 部	澤 井 政 巳 (理事長・園長)	新大船	
	振 興 部	伊 藤 夏 夫 (園 長)	丸山	経 営 管 理 部	石 川 義 仁 (理事長・園長)	いしかわ	
委 員	振 興 部	大 澤 一 之 (園 長)	松風	経 営 管 理 部	清 水 満 正 (副 園 長)	まきが原	
	総 務 部 長	刈 込 大 (理事長・園長)	横浜さがみ	総 務 部 (財 務)	和 田 嘉 明 (理事長・園長)	柏	
	振 興 部 長	石 井 和 則 (理事長・園長)	原	総 務 部	平 山 方 夫 (園 長)	菅	
	研 修 事 業 部 長	田 中 伸 宜 (園 長)	綾南	経 営 管 理 部	丸 山 吉 子 (園 長)	大船カトリック	
	研 究 部 長	亀ヶ谷 忠 宏 (園 長)	宮前	経 営 管 理 部	杉 崎 直 人 (園 長)	茅ヶ崎すみれ	
	経 営 管 理 部 長	池 田 清 (園 長)	ふじがおか第二	総 務 部 (財 務)	渡 邊 健 樹 (理 事 長)	伊勢原立正	
	総務部広報室長	川 崎 永 (理事長・園長)	つくしの	研 究 部	青 木 正 子 (理事長・園長)	平塚めぐみ	
	総 務 部 次 長	鈴 木 豊 司 (主 事)	横須賀	経 営 管 理 部	村 上 裕 (園 長)	あけの星	
	振 興 部 次 長	仁 藤 一 成 (理 事 長)	川崎こまどり	振 興 部	山 口 繁 美 (理事長・園長)	つるま	
	研 修 事 業 部 次 長	山 田 まり子 (理事長・園長)	若竹	振 興 部	小 山 直 久 (理 事 長)	伊勢原山王	
員	研 究 部 次 長	黛 裕 治 (理事長・園長)	清心	総 務 部 (広 報)	高 野 正 基 (理 事 長)	湘南台	
	経 営 管 理 部 次 長	近 藤 康 弘 (理事長・園長)	名瀬	監 事	豊 田 泰 治 (園 長)	まつなみ	
	振 興 部	竹 折 輝 隆 (理事長・園長)	横須賀若葉	監 事	押 本 靖 貴	押本経営労務事務所	

5

4

事業部長・室長のことば

本年度の活動方針

新たな二年間の活動に向けて、部長・室長の先生方に新年度の方針・目標を語っていただきました。

加盟園を代表して重責を引き受けてくださった先生方とともに、各園の先生方も幼児教育振興にご協力願いたいと思います。

総務部 子ども・子育て新制度に向けて

総務部長 苅込 大



本年度総務部長の重責を担うことになりました。力不足ではありますが、精一杯務めさせて頂きたいと思います。

県連の昨年、一昨年の動きとしましては、公益社団法人化や関東地区教員研修神奈川大会等の大きな事業があり、役員の皆様には多大なるご尽力をいただいたことと思います。

今年度は、平成二十七年四月から始まる「子ども・子育て新制度」に向けて、各幼稚園がこの制度を選択するの可否かを決断する大切な年度となります。県や市から各幼稚園へ、この新制度に関しての理解を深めるべく説明会が行われておりますが、各幼稚園の代表者の方々が自信をもって選択するまでの理解には至っていないと思います。しかし、来年度四月から新制度へ移行する場合には、非常にタイトなスケジュールの中で進めなければなりません。

県連総務部としては、県連運営が滞りなく行えるように各部との連携を密にすると共に、新制度に対しての理解を更に深

めて頂くため、各市町村の情報収集並びに提供を行い、皆様に的確な判断をして頂くことと考えております。課題が山積みではありますが、少しでも皆様のお役にたてればと考えておりますので、ご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

振興部 『大きな岐路』 〓将来の幼稚園の展望〓

振興部長 石井 和則



本年度より振興部長に就任いたしました。振興部では、県知事及び県議会議員への予算・政策の要望活動や私学振興課との協議、父母の会連合会の研修大会、幼稚園教育経営研修会などの事業を中心に、各園の園長・設置者のご支援・ご協力をいただきながら進めていきたいと思います。

今年は、何といっても子ども・子育て支援新制度の問題が一番の注目すべき課題ではないでしょうか。消費増税の本格施行に伴い、平成二十七年四月の運用開始に向けて、国や都道府県・市町村の『子ども・子育て会議』での検討も進められ、そろそろ公定価格（仮単価）が決定するとされています。しかし依然として国の動きが流動的で先の見通しが不透明な中、将来の幼稚園

経営をどのような方向に舵を切っていくべきか、とても大きな岐路に立たされているのではないのでしょうか。多様な教育・保育ニーズに添えていくためには、現場や家庭の実態を踏まえつつ、認定こども園になって施設型給付を受けるのか、私学助成を受け現状のままでいくのか、いくつかの選択肢の中、子どもたちに最善の幼児教育を提供できるような幼稚園経営を一番に捉え判断していくことが重要です。振興部では、引き続き新制度の動向や情報を収集し、提供できるよう努めると同時に県や関係当局への予算要望活動・折衝を積極的にアピールしていきます。

経営管理部 私立幼稚園の魅力を伝える

経営管理部長 池田 清



今年度より経営管理部の部長を拝命致しました。どうぞ宜しくお願い致します。

今期も七月五日（土）、「かながわようちえん会館」で人材確保のための「就職相談会」を開催する運びとなりました。山本前部長の発案でスタートしたこの会も今期で四回目の開催となります。これまで各地区の多くの先生方にご協力頂きながらこの会を盛り上げ、私立幼稚園の魅力の周知、広報活動にご協力を賜りました。心より感謝と御礼を申し上げます。

私立幼稚園を取り巻く環境の大きな変化のうねりの中、私達の視線はともすれば「新制度」ばかりへと向きがちですが、実は今足元の幼児教育を支える先生方の雇用が極めて厳しさを増しております。「先生を採

総務部広報室 充実した広報活動になるように

広報室長 川崎 永



新年度がスタートして早くも二ヶ月がたちます。梅雨入りも間近となってきたこの頃ですが、各園では充実した園生活をお過ごしのことと思います。

さて、昨期に引き続き総務部広報室長の大役を仰せつかりました。今年度も広報室活動がますます充実発展するようにしていきたいと考えております。

三ヶ月に一回発行する会報の内容は、県連加盟園の情報、県連役員挨拶と各地区協会のお知らせと報告、そして県や各行政機関からの情報など多岐に渡るものです。特に今年度は平成二十七年実施の子ども・子育て支援新制度に対する県連としての取り組みを中心にお知らせしていきたいと考えています。いづれにしましても、広報室活動の方針としては、

- ①県連の方針とその活動なるべくダイレクトに加盟園及び協力団体、神奈川県選出の国会・県議会議員の先生方に伝えること。
- ②加盟園に役立つ情報や内容をタイムリーに伝えること。
- ③多くの人が読みやすくかつ見やすくなるように工夫すること。
- ④各地区協会や各園の紹介をしながら県連の活動に対する理解と協力に役立つこと。

等が主なこととして考えられます。

用できない」という嘆き。最早対岸の火事ではいられません。保育サービス市場の規模拡大がもたらすもの。人材確保を巡る激化した競争に果たしてゴールテープはあるのでしょうか。「売り手市場」の現状は当分続くものと思われま

県連として何ができるか。何をなすべきか。各園のミクロ的な採用活動を支えするマクロの視点。この県連主催の「就職相談会」を通じて私達自身の言葉で私幼の魅力を伝えたいと思います。こども達の成長に寄り添う幼稚園教諭の素晴らしさとその現場の魅力を伝えたいと考えます。そして、先生方の協力の輪を通じて地区を越えた私たちの絆が更に深まる一助になれば、とも。今年もご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

研修事業部 二十六年度にむけて

研修事業部長 田中 伸宜



今年度研修事業部長を仰せつかりました田中です。幼稚園連合会の研究部にお世話になって二十数年の長い時間が経ちました。部長職は初めてで戸惑いはあるものの、担当副会長・武藤保之先生、次長・山田まり子先生や前任の岩本勉先生、事務局のお力をお借りして、微力ながら取り組んでいきたいと思っています。

平成二十七年年度からスタートする子ども・子育て新制度への対応にここ数年翻弄されてきた我々私幼関係者にとって、日々の保育、研究・研修活動が「足が地に着かない状態」であることは否めません。制度改革

適正な

収支バランスが大切

財務室長 渡井 和佳



公益法人会計による財務処理も軌道に乗ってきました。予算・決算等にかかわる財務諸表の整理も進み、分かりやすく表現するよう合理化の努力を続けています。

会館取得の経済効果を始め、事業の見直しや合理化など各部の努力で毎年財務内容が改善されているのは喜ばしいことですが、本年度、各協会加盟園における園児数の大幅減少は顕著で、会費収入が落ち込むことが分かっています。加えて、申請していた多額の補助金が一時的に不採用となり、本年度の収入減は避けられません。

また、会館利用団体からの家賃収入はあるものの、賃料引下げ要請も出てきており、これも収入減の要因の一つです。前年度の決算によると、繰り越し収支差額が予想を上回り、当面は何とか収支バランスを維持することができそうですが、今年中に何らかの効果的な対策を検討しなければならぬと考えています。

一方、事業費及び管理費はほぼ例年並みの規模ですが、消費税引き上げ、新規事業の展開など予算面で増加することが予想されています。

今後とも費用削減の要素を細かく検討し収支のバランスを適正にすることが必要です。会員各位のご理解ご協力お願いします。

研究部 今だから考えよう！ 幼稚園教育の本質を！

研究部長 亀ヶ谷 忠宏



も良くなるのであれば必要なことかもしれません。私立幼稚園の存続にかかわるような大きな問題かもしれません。しかし我々は各園が入園受け入れをした目前の子どもと保護者の幸せのために、じつくりと課題に取り組むことが本来の仕事ではないでしょうか。

研修事業部は一昨年度から研究部と連携して、免許状更新講習・園内研修・一〇年経験者研修・中堅教諭研修・統合保育基礎講座等の研修会を通じて、県連加盟の教職員にリソースを提供しています。お役にたてるリソースがあると良いのですが。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

六〇周年記念大会や関東地区教員研修神奈川大会、全県大会など、ここ数年は大きなイベント事業に取り組んだ年が続きましたが、これからの二年間は大きな大会もないため外に向けたアピール度は少なくなりませんが、県下の私立幼稚園の保育の質をしっかりと高めていくという、足下を着実に固めていく仕事をしていきたいと考えます。

五年間掲げていく研究テーマ『今だから考えよう！幼稚園教育の本質を！』も二年目となります。各協会でもこのテーマを踏まえながら、それぞれが取り組まれている実践を通して研究をさらに進め深めていっていただきたいと思います。

一方、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の平成二十六・二十七年度の研究課題は

研修事業部・研究部

報告

原点は保育への熱意と研究・研修！

平成二十六・二十七年、私立幼稚園はこれまでで最大の保育制度改革という大波大風に翻弄されることとなります。

そこでの私立幼稚園を漂流させずに繋ぎ止めておくアンカー（錨）となる原点は、やはり子どもたちにより良い保育を行いたいという幼児教育に携わる者の熱意とそれを支える研究・研修です。

この大変な時代だからこそ、研修事業部・研究部が力を合わせて私立幼稚園の保育にとって、つまり子どもたちの最善のための灯台守となれるよう力を尽くしていきたいと思います。

統合保育基礎講座

研修事業部次長 山田 まり子



今年も受講者の強い要望を受け、上原文先生の統合保育基礎講座を開設出来る運びとなりました。希望者は一二〇名を超え、上原先生の絶大なる人氣が伺えます。

落ち着きのない子、気になる子が増えている昨今、現場の先生たちは悩み、手探り状態で毎日を送っています。この講座で答えは出ないかもしれませんが、しかし、子どもを理解し、保育の工夫や配慮へと繋げられること、そして先生たちの保育に向かう気持ちが無難になると常々感じています。上原先生からたくさん

パワーを頂き、現場にいる者として学びを深めて行ければと思っています。

新規採用教員研修会

研究部 吉川 久美子



新規採用教員研修会は、県と県連で行っている研修会で、新任教諭が幼稚園教育の基本や幼稚園教諭の在り方を学び資質の向上を図る事を目的としています。（政令指定都市を除く）今年度も公立との合同研修会二回を含め、六回の研修会を予定しております。

第一回目の研修会は五月十四日（月）ちえん会館で開催され、開講式に続き、小澤副会長より私立幼稚園の教育の重要性についての講義がありました。続いての塩 美佐江先生（聖徳大学教授）「保育者の役割―新人に求められるもの―」の講義は、具体的な現場の話が多くあり、

特別研究A部会 幼児理解と園内研修

―公開保育を通して自園の研修のあり方を考える―



講師・佐藤 康富先生
鎌倉女子大学短期大学 教授

幼児理解は保育の原点です。幼稚園教育の基本は「環境による教育」です。どのような環境や保育をプランニングしていくかにあたっては、クラスの担当の子どもの状況を無視して行うことはできません。子どもの主体性や能動性を育てる上からも、幼児理解は欠くべからざるものです。幼児理解はある意味で個人の解釈です。その読み取りを妥当性あるものにしていくためには、教員同士の話し合い、ディスカッションが必要です。子どもの読み取りや、どのように話し合いを深めるのかという技術も、話し合いのファシリテーションも、この部会で検討していきます。今年度も他園の参観を通して、子どもと保育を読み取る力、話し合いを深める力を磨いていきます。他園の先生方と共に学び合いながら、保育のわかる先生を目指していきましょう。

（文責・佐伯 妙有）

特別研究B部会 幼児理解と評価

―ドキュメンテーションで子どもの視点から保育の質を評価する―



講師・相馬 靖明先生
和泉短期大学児童福祉学科 准教授

幼稚園教育において幼児一人ひとりの特性に応じ、発達課題に即した指導を行うためには、保育者が子どもに寄り添い、子どもの思いに気づき、適切な環境をつくりだして、絶えず幼児の発達する姿に照らして自らの保育を反省、見直ししていくことが求められます。

（文責・澤井 正巳）

受講生にとって充実した学びの時間となりました。

若手後継者のための保育勉強会

研究部 久富 多賀子

自園と私立幼稚園の『保育の質の向上』に

繋がっていくように…

平成二十四年度に発足された「若手後継者のための保育勉強会」は、今年で三

年目を迎えます。様々な園見学や参加者同士のディスカッションを重ねていくうちに、自園の保育のあり方の見直しや、これからの自園の方向性など、参加者か

らは多くの課題が浮き彫りになってきました。平成二十六年度も自園の保育改革に生かせる内容で勉強会を企画致します。第一回目は「根本的に幼稚園にできる役割」について聖心女子大学教授河邊貴子先生を講師に迎え、参加者の皆様と共に考えていきます。その他、野中保育園（富士宮市）や認定こども園の視察を玉川大学教授若月芳浩先生コーディネートのもと行う予定です。子どもを取り巻く環境（私立幼稚園）が制度改革で揺れ動

いている今だからこそ、自園の保育を丁寧に振り返り、子どもにとっての保育・幼稚園教育・子育ての原点を皆さんで探れる機会にしていきたいと思います。

平成26年度 研修事業部・研究部活動

1. 研修事業部主催事業

- オープン講座 12協会
研究会の開催及び研究活動の奨励
- 家庭教育講座 9協会
研究会の開催及び研究事業の奨励
- 公開研究保育研修会
私立幼稚園の教育の自由性と保育の質の高さを担保し、永続していくための研修会
- 10年経験者研修会
教職員の資質向上のための研修会
- 免許状更新講習会
- 連続研修会「園内研修」
各園の保育者集団が自ら保育力を高めていくための園内研修の構築を学ぶ研修
- 統合保育基礎講座
上原 文 先生 かながわようちえん会館
＊5月15日（木）
「子どもたちの今日の状況～その理解と対応～ その1」
＊6月5日（木）
「子どもたちの今日の状況～その理解と対応～ その2」
＊10月30日（木）「本当の家族支援とは その1」
＊11月13日（木）「本当の家族支援とは その2」
- 中堅教諭対象講習会
7月30日（水） 横浜美術館

2. 研究部主催事業

- 地区別教育研究大会 5地区
県連テーマに基づいた大会の開催及び研究活動の奨励
- 特別研究委員会(2委員会) かながわようちえん会館
幼稚園教育に関する今日の課題を取り上げ、調査研究する。各部会年間8回程度開催
A.「幼児理解と園内研修」 佐藤 康富 先生
B.「幼児理解と評価」 相馬 靖明 先生
- 新規採用教員研修会
県私学振興課・子ども教育支援課と連携を図りながら新任教諭のための講習会の企画と実務
＊5月14日（水） かながわようちえん会館
1.「神奈川の私立幼稚園」
2.「保育者の役割―新人に求められるもの―」
塩 美佐枝 先生
＊6月4日（水） 神奈川県立体育センターアリーナ
1.「体験しようアドベンチャー教育 第1回」
白山 明秀 先生
＊6月18日（水） かながわようちえん会館
1.「子どもの心に寄り添う保育
―子どもの見方・捉え方―」
小泉 裕子 先生
＊8月4日（月） 鶴見大学
1.「子どもの理解と保育者の援助」
平山 許江 先生
2.「楽しくなければ造形でない」
平田 智久 先生

- ＊8月5日（火）鶴見大学
1.「指導計画作成について」 佐藤 康富 先生
2. 実技研修
造形／照沼 晃子 先生
絵本／内藤 知美 先生
自然／佐藤 英文 先生
体を動かすあそび／有木 昭久 先生
＊10月15日（水）神奈川県立体育センターアリーナ
1.「体験しようアドベンチャー教育 第2回」
白山 明秀 先生

- 教育史セミナー
教育史を学ぶ研修会
2月19日（木） 秋田 喜代美 先生
- 若手後継者のための保育勉強会
- 第28回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修
栃木大会
8月18日（月）・19日（火） 栃木総合文化センター他
教員の資質向上のための研究講座
フォーラム2「幼児自らが学ぶための保育者の役割」
提案園 岩崎学園附属幼稚園・田浦幼稚園

3. 対外的事業

- 第28回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修
栃木大会
8月18日（月）・19日（火） 栃木総合文化センター他
教員の資質向上のための研究講座
フォーラム2「幼児自らが学ぶための保育者の役割」
提案園 岩崎学園附属幼稚園・田浦幼稚園
- 教育課程等神奈川県研究協議会
7月24日（木）・25日（金）
平塚市中央公民館ホール平塚市勤労会館
提案園 ちよがおか幼稚園
ゆうゆうのもり幼保園
藤沢芙蓉幼稚園
- 教育課程中央協議会
12月8日（月）・9日（火）
国立オリンピック記念青少年総合センター
- 園長等運営管理協議会
7月11日（金） 総合教育センター善行庁舎
- 保育技術協議会
8月5日（火） 総合教育センター県民センター
- 幼稚園教育相談コーディネーター養成研修講座
5月～7月 各幼稚園
8月25日（月） かながわ県民センター
- 幼・保・小連携研修講座
11月28日（金） かながわ県民センター
- 公・私立幼稚園合同経験者研修講座
1月21日（水） 総合教育センター善行庁舎
実践報告 やまた幼稚園
- 幼児教育実践学会
8月22日（金）・23日（土） 東京都千代田区

相談の申し込み

電話にて公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ申し込みください。

電話番号 045-440-3210

7歳までは神のうち

教育相談室から



教育相談員 鈴木敦子先生
(臨床発達心理士)

年中組のたかはしゆうや君（仮名）はお迎えを待っていました。遅れているのでしょうか、「ママ、まだ来ない」とぼつり。近寄って質問してみました。「ゆうや君のお母さんのお名前はなんていうの?」「たかはしママ」。フムフム。「じゃあお父さんは?」「たかはしパパ」。やっぱりです。いつ頃子どもはママやパパにもゆうや君と同じ「たかはし花子」とか「たかはし太郎」といった固有名詞があるかわかるのでしょうか。さて、この年中クラスでは次の週にゲームをしました。じゃんけんをして負けた人が勝った人の後ろにつき、だんだん電車が長くなっていくゲームです。そこで男の子は最初から全員で長い一本の電車になってく

子ども・子育て新制度対策研究委員会より

新制度 最終コーナーへ



委員長 山口 繁 美

平成二十六年年度の委員会がスタートしました。前委員会同様、各協会より推薦された方々が委員となっております。委員の皆様には新制度・子育て会議に関する情報を連合会と協会が共有すべく、パイプ役としてご活躍いただきたいと思えます。今年度の委員会は市町村と幼稚園との間で起きた問題点を出し合い、委員会で討議し、対策に繋げると共に、より具体的な新制度情報の収集に努め、委員を通して各協会へお伝えしたいと思えます。新制度は公定価格仮単価の公表により、我々私立幼稚園にとり市町村の確認事務に向けての施設を選択するの、あるいは新制度には参加せず、今までのままの私立幼稚園として存続するの、かをより具体的に見通さなければならぬ時を迎えました。特に、個人立の皆様は今年度に「施設型給付施設」として確認を受けなければ、それ以後個人立のままでは「施設型給付施設」にはなれません。そして、見通す際には三つの事柄をベースに考えなければなりません。

① 公定価格の単価（市町村により、規模により単価は変わります）

② 各市町村のニーズ調査の結果を数値として受け止める

③ 自園の現状（施設や職員）として可能な選択施設は何か

市町村の確認事務に向かつては、もう一度新制度の基本ルールを確認してください。確認資料は前年度委員会が作成した資料が各協会に配布されています。当委員会は、各園が幼児の教育をより良くするための道筋を実践する施設選択のために活動したいと思えます。

通学・通園バス等津波対策ガイドライン



副会長 鈴木 伸 司

四月二十八日の夕刻、県連を代表し渡邊会長と小澤、鈴木副会長三名は神奈川県庁の応接室を訪ね、松森県民局長、南雲私学振興課長以下県職員の方々が同席する中、標記ガイドラインの完成を報告し、黒岩知事に手渡ししました。

これは、昨年十二月に県議会での質問を受けた知事の指示により、県当局と幼稚園側の代表者で数回の研究会を経て、共同作業により作成したものです。

東日本大震災で起きた通園バスの痛ましい事故を繰り返さない為にも、このガイドラインを各園でもご活用の上、バスコースによる具体的な対応策の検討をしていただき、備えを万全にしたいものです。



感謝をこめて 退任役員の紹介

平成24・25年度にわたり県連役員として公私供にお忙しい中、ご活躍をいただき誠にありがとうございました。

子ども・子育て支援新制度、公益社団への移行等、多くの課題と向き合いながらの昨期ではありましたが、各理事の先生方におかれましては、そのお力を遺憾なく発揮され、県連のさらなる発展ができました。また、各協会長におかれましても、地区協会の活動を推進され、地域における私立幼稚園の社会的地位向上に向けてご貢献されましたことは県連合会の誇りと言えます。

今後も先生方の園の発展と貴協会のさらなる隆盛をお祈り申し上げます。

氏名太字は協会長

役 職 名	氏 名	園 名
理 事	副会長(研究)	石 井 稔 江 かぐのみ
	振 興 部	磯 川 浩 倉見
	総 務 部	檮 木 勝 彦 こすもす
運 営 委 員	研 究 部 次 長	高 方 子 鎌倉みどり
	振 興 部	岩 波 啓 之 岩波
	振 興 部	石 井 良 一 鎌倉しろやま
	振 興 部	大 森 美保子 恵泉
	振 興 部	金 子 英 行 虹ヶ丘
	研 究 部	安 部 富士男 安部
	総 務 部	藤 原 伸 介 森村学園
	総務部財務室	岩 谷 恭 子 エクレス
	経 営 管 理 部	鎌 田 豊 也 ゆたか
	研 修 事 業 部	敦 岡 幸 夫 横浜さくら
研 究 部	研 究 部	今 井 恵 子 鴨居
	経 営 管 理 部	磯 西 真理子 湘南マドカ
	経 営 管 理 部	長 塚 美 次 伊勢原白百合
	振 興 部	山 田 誠 一 おおぞら
	研 究 部	山 田 誠 一 おおぞら
	研 究 部	山 田 誠 一 おおぞら
	研 究 部	山 田 誠 一 おおぞら

研修事業部名簿			武 藤 保 之	友 愛
担 当	副 会 長	長	田 中 伸 宜	綾 南
部	次	長	山 田 まり子	若 竹
各地区協会研究部長	横 浜	江 津 秀 子	八 幡 橋	津 田 山
	川 崎	嶋 崎 正 浩	津 田 山	湘 南 台
	藤 沢	高 野 正 基	茅ヶ崎つるみね	綾瀬ゆたか
	茅 ヶ 崎	赤 間 浩 正	星 が 丘	楠
	相 模	橘 川 和 夫	かぐのみ	鶴見大短大附属三松
	厚 木	桐 生 典 明	プリンス	南 大 野
	逗 葉	米 満 園 江	平 戸	光 輪
	運 営 委	山 崎 和 子	秋 葉	白 山
	〃	鬼 頭 久美子	サクラノ	ゆりかご
	〃	岩 本 勉	ゆりかご	東 菅
委 員	小笠原	裕	南横須賀	ケンコウ
	〃	渡 辺 竹 伸	六 会	鎌倉女子大学幼稚部
	〃	本 橋 正 光	二宮育美	黒 部 丘
	〃	志 村 雄 治	ひばりが丘	綾 西
	〃	志 村 富 子	〃	〃
	〃	上 村 瑞 枝	〃	〃
	〃	佐保田 ともこ	〃	〃
	〃	長 澤 英 子	〃	〃
	〃	赤 穂 幸 男	〃	〃
	〃	平 川 弘	〃	〃
研究部名簿			山 本 安 雄	鈴 鹿
担 当	副 会 長	長	亀ヶ谷 忠 宏	宮 前
部	次	長	黛 裕 治	清 心
各地区協会研究部長	横 須 賀	山 崎 一 樹	岩 戸	材 木 座
	鎌 倉	吉 川 久美子	香川富士見丘	伊勢原ひかり
	茅 ヶ 崎	鈴 木 由香里	浅野記念御濠端	新 大 船
	湘 央	佐 伯 妙 有	平塚めぐみ	富士見ヶ丘
	小 田 原	島 田 美 緒	東 台	横浜隼人
	運 営 委	澤 井 政 巳	岩崎学園附属	関東学院のびのびのば
	〃	青 木 正 子	江 川	こうりんじ
	委 員	川 辺 公 平	ぎんのすず	鶴沼めぐみルーテル
	〃	佐 藤 力 弥	こばやし	香川富士見丘
	〃	水 越 美 果	さくらい	倉 見
〃	〃	久 富 多賀子	中 央	相模すぎのこ
	〃	小 高 千 恵	〃	〃
	〃	石 渡 宏 之	〃	〃
	〃	岡 本 量 寿	〃	〃
	〃	小 出 真 堂	〃	〃
	〃	加 部 公 子	〃	〃
	〃	小 林 俊	〃	〃
	〃	鈴 木 由香里	〃	〃
	〃	櫻 井 喜 宣	〃	〃
	〃	磯 川 健	〃	〃
〃	〃	大 貫 照 親	〃	〃
	〃	日 高 倫 明	〃	〃
	〃	大 貫 伸 久	〃	〃
〃	〃	風 間 ゆかり	〃	〃

Pride of **KANAGAWA**

瑞宝双光章・旭日小綬章 受章おめでとうございます

平成26年4月29日付けで発表された国の行う春の叙勲で、(学)富岡中央学園・こすもす幼稚園・櫛木勝彦先生(理事長・園長)が瑞宝双光章を、(学)横須賀学園・横須賀若葉幼稚園・竹折輝隆先生(理事長・園長)が旭日小綬章をそれぞれ受章されました。心よりお祝い申し上げます。

瑞宝双光章



学校法人富岡中央学園
こすもす幼稚園
櫛木 勝彦 先生
理事長・園長

旭日小綬章



学校法人横須賀学園
横須賀若葉幼稚園
竹折 輝隆 先生
理事長・園長

祝

解説

瑞宝双光章

国および地方公共団体の公務または公共的な義務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られます。

旭日小綬章

国や公共に対して功労のある方で、とりわけ顕著な功績を挙げられた方に贈られます。

研 修 会 報 告

研究部主催

研修事業部主催

開催日	研 修 名	会 場	講 師	テ ー マ	参加者数
5/14(水)	新規採用教員研修会	かながわ ようちえん会館	小澤 俊通 先生	「神奈川の私立幼稚園」	148人
			聖徳大学 教授 塩 美佐枝 先生	「保育者の役割－新人に求められるもの－」	
5/15(木)	統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	Nippon Data社会福祉研究所副所長・ 教育福祉研究室室長 精神保健福祉士 上原 文 先生	「子どもたちの今日的状況 ～その理解と対応～ その1」	116人
5/27(火)	子ども・子育て支援 新制度研修会	かながわ ようちえん会館	遊育編集長 吉田 正幸 氏	新制度実施を前に私立幼稚園が大切に しなければならないこと ～「確認」を前に自園の歩む道を考える～	200人 (予定)
5/28(水)	小田原オープン講座	浅野記念 御濠端幼稚園	小田原短期大学 講師 野津 直樹 先生	「環境」を再考する ～いつもの保育から「環境」を切り取る～	80人 (予定)
5/28(水)	鎌倉オープン講座	大船カトリック 幼稚園	船井総合研究所 幼稚園経営コンサルタント 石井 敦 先生	「僕が思う素敵な幼稚園の先生」	200人 (予定)

平成26・27年度 広報室員名簿

担当副会長	安西 透	平和
総 務 部 長	荻込 大	横浜さがみ
■会報担当		
広 報 室 長	川崎 永	つくしの
室 員	高野 正基	湘南台
〃	菅沼 正平	藤棚
〃	宮田 昌一	新作やはた
〃	浅谷 学	中野島
〃	磯西真理子	湘南マドカ
〃	熊坂 昌志	鈴鹿
〃	吉村文比古	誠心第二
■ホームページ担当		
室 員	藤田 聡	潮見台みどり
〃	石井 秀卓	ひがし

事務局紹介

平成22年に幼児教育の拠点として「かながわようちえん会館」を開設し5年目となりました。

事務局員も振興担当の西山事務局長をはじめ、総務担当の齊藤事務局員、財務担当の今野事務局員、研修・研究担当の森川事務局員に加え、

本年2月から教育相談担当の末次事務局員を加え、日々業務に励んでおります。これからも会員園の先生方のお力になれますよう、県連事業の推進に奮起いたしますので、ご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



写真左から齊藤・今野・末次・森川・西山事務局長

From the Public Relations Section

編集後記

会報188号がお手元に届くと間もなく、4年に1度のサッカーワールドカップ“ブラジル大会”が始まります(6月13日～7月14日まで)。単独種目でありながら規模や人気は、スポーツの祭典と言われるオリンピックを遙かに凌ぐとされています。本田、香川、長友といった世界的選手を擁する我が日本代表は過去最強です。寝不足の日々となることと思いますが、夏に向けて体調管理をしっかりしていきましょう。

広報室長 川崎 永